

麻しん(かもしれない)と診断された方へ

検査結果が出るまでの間、お願いしたいこと

- 感染を広げないために、外出をせず、自宅で安静にしましょう
- 体調が悪化し、再受診したい場合は、
「麻しん(かもしれない)と診断されている」旨を医療機関へ事前に連絡し、
指示に従い受診しましょう
- 家族や接触のある人に症状が出た場合は、医療機関を受診する前に保健
所へご一報ください
- 保健所による麻しん・風しんに関する検査および調査にご協力ください
保健所が電話でききとり調査を行います。事前に以下の URL または二次元
コードから回答をお願いします。

<https://logoform.jp/f/f9X0S>



高崎市保健所 保健予防課 感染症対策担当

電話:027-381-6112

麻疹とは？

麻疹ウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症で、「はしか」とも呼ばれています。

1 症状

38℃前後の発熱、咳、鼻汁、くしゃみ、結膜充血など、風邪のような症状が現れます。2～3日熱が続いたあと、いったん解熱し、再び39℃以上の高熱と発疹が出現します。

肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。死亡する割合も、先進国であっても1,000人に1人と言われています。

2 感染経路

麻疹ウイルスの主たる感染経路は空気感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播します。感染力は非常に強く、免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症すると言われています。

3 潜伏期間(感染してから症状がでるまでの期間)

約10日～12日間(21日間程度の場合もあります)

4 周囲に感染させる期間(感染可能期間)

症状が出現する1日前から解熱後3日間まで(全経過を通じて発熱がみられなかった場合、発疹出現後5日間まで)といわれています。

5 治療

特異的な根治療法はなく、対症療法を行います。

6 登園・登校・出勤の目安

麻疹は、学校保健安全法で出席停止の対象となる感染症です。医師の許可があるまで登園・登校・出勤は控えましょう。

停止の目安:解熱後3日を経過するまで